

Game Report

開催場所：玉名市総合体育館

試合区分：第 22 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 男子 3 位決定戦

試合期日：2017 年 5 月 21 日 (日)

試合時間：10:00～

主審：松永 雄平

副審：篠原 正則

九州産業大学	83 ○	18	—1st—	18	67 ●	鹿屋体育大学
		10	—2nd—	16		
		23	—3rd—	22		
		32	—4th—	11		

第 1 ピリオド

開始早々、九産大は #21 野元のアシストから #13 上良がシュートを決める。鹿体大も負けじと、#21 池浦のアシストから #43 横川がシュートを決め返す。その後、鹿体大は #12 川尻にボールを集め、インサイドでオフェンスを展開していく。対する九産大は、#58 鈴木が果敢に攻めチャンスメイクをする。一進一退の攻防が続いた第 1 ピリオド。18-18 で第 2 ピリオドへ。

第 2 ピリオド

幸先の良いスタートを切ったのは鹿体大。#43 横川を起点とし、オフェンスを組み立てていく。#43 横川のアシストから #21 池浦がシュートも決めるも、九産大も #58 鈴木が 3P シュートを決め返し、粘りを見せる。中盤、鹿体大 #43 横川が 3P シュートから流れを作り、攻守にわたって躍動する。さらに鹿体大は #12 川尻のシュートで勢いをつけ、28-34、鹿体大が 6 点をリードし、勝負は後半戦へ。

第 3 ピリオド

追い付きたい九産大は、開始 10 秒で #13 大城のシュート、続いて #58 鈴木が速攻の先頭を走りファストブレイクを演出する。好調な滑り出しを見せた九産大だったが、鹿体大 #5 迎の連続 3P シュートで鹿体大が反撃に出る。流れを掴みたい九産大もゴール下のリバウンド争いを制し、鹿体大の追撃を許さない。23-22 と攻守互いに激しく火花を散らした第 3 ピリオド、51-56 とわずかに点差は縮まり、勝負は最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

開始 2 分、5 点のビハインドで第 4 ピリオド迎えた九産大は、#58 鈴木が 3 本連続で 3P シュートを沈め、一気に点差が縮まる。波に乗った九産大は #62 喜久山が中へ鋭いドライブで切り込みシュートを決める。残り、5:23、鹿体大がタイムアウトを請求。タイムアウト後、リバウンドが取りたい鹿体大はゾーンディフェンスを仕掛けるが、またしても九産大 #58 鈴木が連続 3P シュートにより点差を離す。鹿体大は #12 川尻のローポストでのプレイにより意地を見せる。最後までリングへ向かい続けた鹿体大であったが、九産大がリードを守り、63-67 で勝利を果たした。